

## 第6学年 外国語活動指導案

場 所 すずかけホール

児 童 6年2組 35名(男子17名 女子18名)

指導者 T1 福井 千佳子 T2 田淵 由紀

1 単元名 Let's go to Italy. 「友だちを旅行に誘おう」 (Hi, friends! 2 Lesson 5)

2 単元について

(1) 教材について

世界には様々な国がある。今年にはロンドンオリンピックがあったことで、子どもたちも世界各国の国名を耳にしたり、人々の様子を見たりする機会が普段よりは多くなっているととらえている。このような状況の中で本単元を指導することを計画した。

本単元では、世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付くことや、“Where do you want to go?” “I want to go to Italy.”等の表現を使った会話やゲームを通して、積極的にいきたい国について尋ねたり答えたりし、自分の思いを込めておすすめの色を発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりすることを主なねらいとしている。また、世界各国において様々な生活があることに気付かせることを通して、自分たちの住む日本の生活に興味関心が高まることも期待する。

さらに、英語を使って友達におすすめの国の紹介をしたり友達の紹介を聞いたりする活動を行うことで、互いの理解を深め、良好な人間関係作りにもつなげたい。

(2) 児童について

本学級の児童は、興味関心をもち意欲的に外国語活動に取り組んでいると言える。歌やジェスチャー、各種の活動などには楽しみながら積極的に取り組んでいる。英語での文表現が分からないときも、単語やジェスチャーを使って何とか伝えようとする姿勢が見られるようになってきている。

一方で、進んで話しかけることを得意としない子もいる。そのため、各種の活動では、多くの友達に思わず尋ねてみたくなる、あるいは何とか伝えたいような活動を仕組み、コミュニケーションを図ることの楽しさを感じ取らせたい。

(3) 指導に当たって

本単元のゴールは、自分のおすすめの国に友達を誘うことである。まず世界には様々な国で様々な人々が生活していることに気付かせ、世界の国々に興味をもたせる。次に、友達との活動を楽しみながら “Where do you want to go?” “I want to go to ~.”等の表現を使って聞くこと及び話すことに慣れさせていく。また、それらの活動を通じて、自分ならどこの国に行きたいか、友達はどんな国に興味があるのだろうかという関心を高めていく。コミュニケーション活動を通して、クラスの行きたい国に関する傾向はどうか、友達はどんな理由でその国を薦めているのかに興味をもって尋ねたり聞いたりするようにさせたい。

そのため、下のような手だてを講じ、指導を進めたい。

① 活用・交流

ア チャンツでは、リズムにのったり語句を入れ替えたりして何度も繰り返し話すようにさせる。

様々なゲームでは、友達と楽しみながら活動できるようにする。その際、大人数で尋ねたり答えたりする活動から次第に少人数で話す活動へと移行させ、一人でも英語を話すことに慣れさせていく。(活用)

イ インタビュー活動のデモンストレーションでは、尋ねる側は、友達の行きたい国や理由について相手の言葉を繰り返すことで確認し、分かるまで尋ねるという態度を大切にする。答える側は、自分の伝えたいことが相手に適切に伝わるように、何度も繰り返して言ったり、ジェスチャーを使ったりしながら伝えようとする態度を大切にする。そのことで、子どもたち自身に自分にもできそうだという気持ちをもたせたい。(活用)

ウ コミュニケーション活動では、必然性を大切にした活動を行う。聞く側には、友達はどんな理由でその国をすすめるのかに興味をもたせる。話す側は、自分の思いが伝わるようなポスターを作成して発表させる。友達のどんなすすめ方がよかったかを視点としてもたせ、活動を行わせる。(交流)

## ② 形態

次のようなねらいにより、本単元は主に TT による一斉指導の形態をとる。

ア 児童の活動を見取り、気付きを引き出したり取り上げたりする。

イ 1対1のコミュニケーション活動の例を示す。

ウ コミュニケーション活動が難しい児童への細やかな支援を行う。

## 3 単元の目標及び評価規準

### (1) 単元の目標

- 自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。
- 行きたい国について尋ねたり言ったりする言い方に慣れ親しむ。
- 世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。

### (2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
自分の思いがはっきり伝わるように工夫して、おすすめの国について発表したり聞いた りしている。	行きたい国について尋ねたり言 ったりしている。	世界に様々な人たちが様々な生活 をしていることに気付いている。

## 4 単元の指導・評価計画 (4時間)

時	目標	学習活動 (指導内容)	評価				形態	
			コ	慣	気	評価規準		評価方法
1	世界では、様々な人々が生活していることを知り、世界に興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Let's Play 1</b> 知っている国を発表しよう。</li> <li>・ <b>Let's Listen 1</b> どこの国の世界遺産か</li> </ul>			○	◎世界国々に興味をもち、どこの国の様子なのか気	行動観察	1C1T

		<p>考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Let's Play 2</b> 国旗クイズを作ろう</li> <li>• <b>Let's Chant</b> “Let's go to Italy.” ①②③</li> <li>• キーワードゲーム</li> </ul>				付いている。	振り返り カード	
2	行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ミッシングゲーム</li> <li>• <b>Let's Chant</b> “Let's go to Italy.” ①②③</li> <li>• ステレオゲーム</li> <li>• ラッキーカードゲーム</li> <li>• <b>Let's Listen 2</b> きよこさんがどこにいて何をしたいのか聞こう。</li> </ul>		○		◎国名を聞いたり話したりするとともに、行きたい国について聞いている。	行動観察 振り返り カード	1C2T TT
3 本時	行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Let's Chant</b> “Let's go to Italy.” ②</li> <li>• ステレオゲーム</li> <li>• ラッキーカードゲーム</li> <li>• <b>Let's play3</b> 友達の行きたい国についてインタビューする。</li> </ul>		○		◎行きたい国について尋ねたり言ったりしている。	行動観察  振り返り カード	1C2T TT
4	相手にはっきり伝わるように自分の行きたい国とその理由を伝えようとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Let's Chant</b> “Let's go to Italy.” ②③</li> <li>• <b>Activity</b> おすすめの国の紹介の仕方を知る。 おすすめの国を紹介する。</li> </ul>		○		◎自分の思いがはっきり伝わるように工夫して、おすすめの国について発表したり聞いたりしている。	行動観察  振り返り カード	1C2T TT

5 本時の指導（3/4）

(1) 目標 行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。

(2) 指導に当たって

本時では、自分のおすすめの国に理由を添えて答えるインタビュー場面を設定する。

そこで、チャンツの語句を変えながら“I want to ~.”や国名を繰り返すようにさせ、慣れ親しませる。ステレオゲームでは、質問側は“Where do you want to go?”, 回答側は“I want to go to ~.”を何度も話すようにさせる。さらにラッキーカードゲームでは、ラッキーパーソンがカードを選んだ簡単な理由を話すことで、インタビュー活動への関心につなげていく。(活用)

インタビューのデモンストレーションでは、友達の行きたい国名を単に尋ねるだけでなく、自分の思いを伝えようとする姿勢と相手の思いを正確に受け止めようとする姿勢を示し、インタビュー活動に生かすようにさせる。(活用)

インタビュー活動の際、クラスで人気の国はどこか、またその理由は何かという視点を与えて活動させることにより、多くの友達に聞いてみたいという気持ちをもたせる。(交流)

(3) 本時の展開

段階	児童の活動	教師の働きかけ		指導上の留意点 (◆研究の重点)
		T 1	T 2	
導入 8分	1 あいさつをする Hello. I'm fine./ happy/hungry/sleepy.	○全体に挨拶をする。 Hello, how are you?		・全体, ペア
	友だちに行きたい国を聞いてみよう。			
	2 Let's Chant Let's go to Italy. ②③ チャンツを言う。	○音楽をかけ、絵カードを黒板に貼り、チャンツをする。		◆語句や形態を変えて、繰り返し行うことで国名や“I want to~”等の話型に慣れ親しませる。 (活用)
展開	3 ゲーム ステレオゲーム ラッキーカードゲーム	○絵カードを提示して、ゲームを行う。 ○ラッキーパーソンはどの国を選んだのかを予想してカードを選ばせる。時間になったら全員でラッキーパーソンに尋ねる。		◆全員で、一人だと話す形態を変えてゲームをし、話型に慣れ親しませる。 (活用)
	4 Let's Play 3 インタビューをする。	○デモンストレーションを示す。 T1: Excuse me Yuki sensei., T2: Yes.		◆自分の思いを伝えようとする姿勢と相手の思いを正確に受け止めよ

<p>展 開</p> <p>30 分</p>	<p>4 インタビューの結果を紹介する。</p>	<p>T1: Where do you want to go?  T2: I want to go to France.  T1: France?  T2: Yes. France.  T1: Why?  T2: I want to see the Eiffel Tower.  T1: Eiffel Tower?  T2: Yes. The Eiffel Tower.  T1: アイフルタワー。What?  T2: This is the Eiffel Tower.  エッフェル塔 in Japanese.  T1: Oh, me too.  Thank you Yuki sensei.</p> <p>○人気があった国や意外な国があったかどうか聞く。</p>	<p>うとする姿勢を示しインタビュー活動に生かすようにさせる。(活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ T1 は全体の見取りを行う。T2 は児童と一緒にインタビューに加わり、個別支援に当たる。</li> </ul> <p>◆クラスで人気の国はどこか、また意外な国に行きたいという友達もいるかもしれないという、視点をもたせてインタビュー活動に入らせる。 (交流)</p> <p>評 行きたい国について尋ねたり言ったりしている。 (行動観察・ふりかえりカード)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紹介することでほかの国やすすめる理由に興味をもたせるようにする。</li> </ul>
<p>終 末</p> <p>7 分</p>	<p>5 振り返りをする。</p> <p>6 あいさつをする。</p>	<p>○数名に指名して感想を紹介させる。</p> <p>○あいさつをする。  Good-bye, see you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ めあてについて振り返らせる。</li> <li>・ 友達についての新たな気付きを書いている子を紹介する。</li> </ul>